



地域の方に協力してもらって、おっきい大根を収穫!

散歩先で小さな虫を見つけた! 慎重に掘んでみよう…。



「見て見て」どんぐりや落ち葉で四季折々を感じられる。



みんなが散歩好き  
ご近所さんは見守り隊



北陸学院大学 卒業  
2012年4月 入職  
**杉森 紗季** Sugimori Saki

3日間のインターンシップをきっかけに入職。現在は子育てをしながら勤務。「休みが取りやすいので働きやすい!若い頃は友達と有給使って旅行をしました」



中京学院大学短期大学部 卒業  
2015年4月 入職  
**半田 彩夏** Handa Ayaka

石川県出身。大学進学を機に岐阜県へ。母園でもある大和善隣館の魅力改めて知り、Uターン入職をした。園内の先生たちとご飯に行くことが楽しみ。

**岐** 岐阜の大学に通っていた半田先生。なぜ、故郷の石川県に帰ってきたのだろうか。「地元には気の合う友達がいたことや、母園でもあった、大和善隣館の保育に興味がありました」大和善隣館には実習を経て入職を決めたそう。「実習中は、広い園庭、近くにある大きな公園、少し足を延ばせば広がる田畑など、自然豊かな環境で子どもたちと過ごす時間にホッとしました」

**も** う1つ入職の決め手となったのは、職員の仲の良さ!実習で子どもの姿や育ちについて語り合う先生たちを見て、困ったときでも相談しやすい雰囲気を感じました。就職して、みんなでご飯に行くほどの仲の良さを実感しています」

社会福祉法人大和善隣館  
(取材園: 松陽こども園)

法人情報  
石川県小松市  
矢崎町ナ129-1  
☎0761-52-0328  
設立:1944年6月



小松市で最も歴史が長く、現在は6園運営している。働き方改革推進企業として石川県が認定する「いしかわ魅力ある福祉職場」に保育所法人として初めて認定された。

オンライン  
園見学

オンライン  
説明会

オンライン  
相談会

**松** 陽こども園では特に、自然の中の学びを大切にしている。その魅力を杉森先生に伺った。「近くの畑でじゃがいも、さつまいも、大根。園庭では夏野菜を育てています」自ら野菜を育てることは、食育に繋がるといいます。「子どもたちは水やりをして、間近で野菜の成長を見ながら収穫を心待ちにします。収穫時は『こんなに大きな野菜が採れたよ』と大喜び!その後、育てた野菜を使って子どもたちと料理をします」

**散** 歩先は近くのお庭。『お庭で遊んでいいよ』と言ってくれるご近所の方がいます。大きな木々や様々な草花が多くあり、四季折々の変化が楽しめる庭は、虫取りにも絶好な場所。初めは虫が苦手だった子どもも、虫取りが上手な子を見て『見せて!触らせて!』と少しずつ興味を持つように。地域の方とも協力しながら、自然に触れる経験を大切にしています」